

育成 モノづくり人材

Vol. 86

兵庫県立 神崎工業高校

中小企業が多い工業都市・兵庫県尼崎市の定時制工業高校として74年間、製造の現場に人材を送り込んでき



森本校長

た。多くが働きながら学ぶ。森本成己校長は「厳しい生活環境を抱えていたり、中学時代に不登校だったりと生徒も多い。モノづく

りの技能や知識で自信

【DATA】▷校長=森本成己氏▷所在地=兵庫県尼崎市▷学科構成=機械科、電気科、特別専修コース▷生徒数=227人▷主要設備=汎用旋盤、フライス盤、ガス・アーク溶接、2次元・3次元CAD▷主な進路=東亜バルブエンジニアリング、鴻池運輸、タカラメディカル、岩崎電機製作所、井原築伊工業、芦屋大学、神戸国際大学、産業技術短期大学、トヨタ神戸自動車大学校、ホンダテクニカルカレッジ関西など

技能で自信深めて社会へ

を与え、世に出るのが本校の責務」と説く。コースは3年で卒業の「3修制」と4年卒業の「4修制」。授業は3修制が0-4校時の1日5時間、4修制は1-4校時の同4時間。4修制は仕事をしつつ

（崎市）の学生が地域連に過ごす生徒もいる」校では得られなかった居場所を同校で見つ

「3修制」と4年卒業の「4修制」。授業は3修制が0-4校時の1日5時間、4修制は1-4校時の同4時間。4修制は仕事をしつつ



部活も含め、いきいきと学ぶ（機械実習でヤスリをとぐ生徒）

の定時制全国大会に出場し、活躍する。「多くの生徒が正社員として働けるよう努めている」（同）。卒業してもモノづくりの生涯学習に寄与している。

（大阪・田井茂）
（金曜日に掲載）

りする生徒もいる。森本校長は「『チャンスをつかむ』と発破をかけている」。安定した正社員に就く比率を高めた」と、将来を思いやる。